

廃棄物安全試験施設 (WASTEF) の 核燃料物質使用変更許可申請について

令和4年4月28日

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
原子力科学研究所 臨界ホット試験技術部

今回の新旧対照表に記載している添付1-11の表4(1)は、現行の「変更後における障害対策書 P表3 表4(1)」を用いるところ、使用の目的②のJRR-3Mの評価が抜けている表を記載しておりました。

こちらの表は添付1-6 2.2.6の本文中に記載のある「人が常時立ち入る場所の最大実効線量は、1週間当たり0.438mSv (No.1セル上部)」の算出に使用する表となります。

当該最大実効線量の評価は、「変更後における障害対策書 P表3 表4(1)」に記載された $10.95 \mu\text{Sv/h}$ を用いているため、従事者の放射線外部被ばく計算結果に影響がないことを確認しました。

この表4(1)は、補正により修正いたします。

新旧対照表の誤記載について

令和4年2月21日に変更申請をした表4(1)

表4(1) しゃへい能力評価 (No.1セル)

設 備 名 及 び 線 源 条 件	<u>しゃへい</u> 体	評価点 記 号	線源と <u>しゃへい</u> 体 内壁との 距離 (cm)	実 効 線 量 率 ($\mu\text{Sv/h}$)
線源形状 : 点状 線源強度 : 高レベル放射性 廃棄物固化体 $1.85 \times 10^{15} \text{Bq}$: 使用済燃料 軽水炉ウラン 燃料 $6.66 \times 10^{13} \text{Bq}$		A-2	0	
		A-3	100	
		A-4	230	
		A-5	0	
		A-6	50	
		A-7	0	
		A-8	0	
		A-9	0	
		A-10	0	

新旧対照表の誤記載について

本来申請の予定であった「変更後における障害対策書」に記載されている表4 (1)

表4 (1) しゃへい能力評価 (No.1セル)

設 備 名 及 び 線 源 条 件	<u>しゃへい</u> 体	評価点 記 号	線源としゃへい体 内壁との 距離(cm)	実 効 線 量 率 (μ Sv/h)
No.1セル 線源形状 : 点状 線源強度 : 高レベル放射性 廃棄物試料 1.85×10^{15} Bq : 使用済燃料 軽水炉ウラン 燃料 6.66×10^{13} Bq : 使用済燃料 (JRR-3M) 3.20×10^{14} Bq		A-1	0	
		A-2	0	
		A-3	100	
		A-4	230	
		A-5	0	
		A-6	50	
		A-7	0	
		A-8	0	
		A-9	0	
		A-10	0	